



(倉吉)

鳥取・大御堂廃寺（久米寺） おおみどう

所在地 鳥取県倉吉市駄経寺町二丁目

調査期間 一 第三次調査 一九九八年（平10）七月～一九九九年三月

二 第四次調査 一九九九年七月～二〇〇〇年三月

月

発掘機関 倉吉市教育委員会

調査担当者 根鈴智津子・加藤誠司・岡平拓也

遺跡の種類 寺院跡

6 遺跡の年代 七世紀後半～一世纪、中世

7 遺跡及び木簡出土遺構

の概要

遺跡は日本海へ注ぐ天神川とその支流小鴨川に挟まれた、標高一六mの沖積平野に立地する。これまでの調査により、墨書き器から、

郡名「久米郡」を負う「久米寺」と称された寺院であ

つたことが判明している。寺域は東西を築地塀で囲み、その心々距離は約一三五m、南北は二〇〇m以上と推定される。伽藍配置は觀世音寺式で、塔・佛・銅製匙・銅製獸頭等が出土していることから、本格的寺院であったことが窺える。

一 第三次調査

西築地塀を推定した調査区で、旧河道の中世層から木製品とともに転読札が出土した。

二 第四次調査

出土木簡は、本誌第二〇号所載の番付を付した木樋に接続する、溜枠SE〇一の部材と、溜枠内出土の木簡である。溜枠は、中心伽藍の北西部に位置し、西築地塀から約二〇m、木樋取水口からは直線距離九六mの地点に設置され、規模は内法約一m四方、構造は方形横板組隅柱留である。その部材に番号を記した墨書きがあり、枠板一枚一カ所、隅柱三本五カ所、土居桁二本二カ所の計八カ所に確認された。方位を一、二字記すもので、実際の設置方位とは九〇度西に振っている。材質は、木樋・溜枠とも杉材である。枠板の年輪年代の測定から、木材の伐採時期は西暦六六三年十約五〇年との結果が得られた。

木簡が出土した溜枠内下層には、木製祭祀具（人形一・馬形一・斎串二など）・曲物・匙・建築部材など多量の木製品の他、モモ・ウメなどの種子類や植物遺体が遺存し、出土土器は七世紀後半～八世

紀前半のものを含んでいた。大掛かりな施設でありながら、比較的短期間のうちに使用不能となつたものと推定される。赤外線テレビカメラ装置で墨痕の認められた木簡は、削屑三点と判読不能の断片六点を含めて一一点である。墨痕の認められなかつた木簡状木製品も二点ある。他の文字資料としては、溜枡掘形から「久寺」と刻印した須恵器杯片が二点出土している。

8 木簡の釈文・内容

一 第三次調査

(1) 「×奉転読大般若經十六善神王皆來守護門所也」

508×55×10 011

(7) 「○三日仏×聖□

「○一升半口七

(90)×44×3 019

(8) □四〔僧カ〕

間□

(83)×28×3 081

完形だが、墨は殆ど消失し痕跡が盛り上がつた状態である。十六善神は大般若經の守護神である。

二 第四次調査

溜枡部材

(1) 「東」 (溜枡北辺柱板)

980×260×50 061

(2) 「×西」
「北東」 (溜枡北西隅柱北面)

(910)×(130)×130 061

(3) 「東」 (溜枡北東隅柱北面)
「南」 (同 東面)

(910)×130×130 061

(4) ○南 (溜枡南東隅柱東面)

(920)×130×130 061

・西南 (同 南面)

1750×150×150 061

(5) 「南」 (土居桁北辺)

1580×150×90 061

(6) 「□西」 (土居桁南辺)

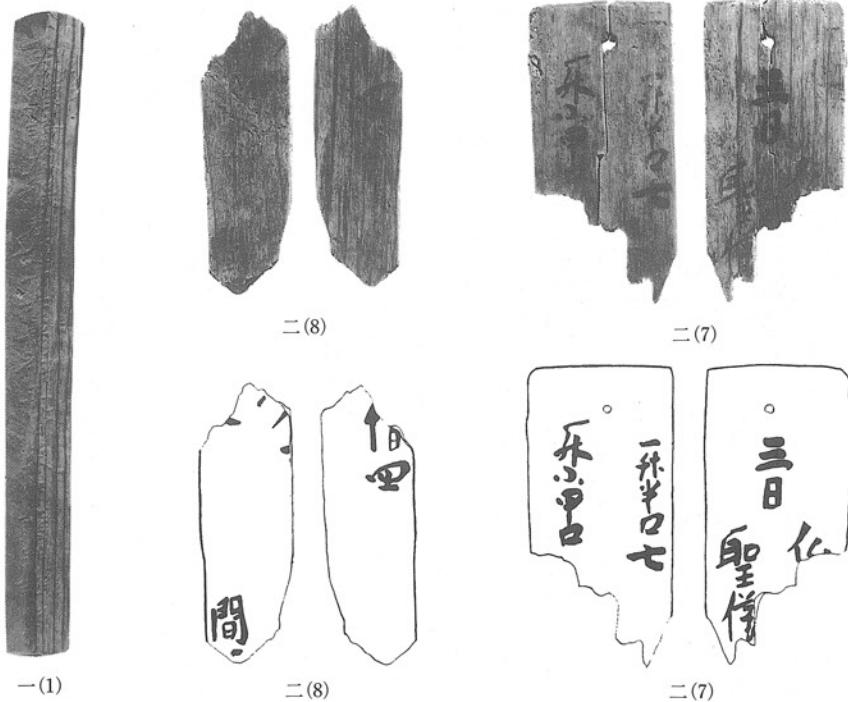
1580×150×90 061

溜枡内出土

(1) (1) (6)は赤外線テレビカメラによる判読を行なつていない。(4)東面は五cm大の文字に対し小さめの丸を右上に付したもの。(7)(8)とも墨痕は明瞭。(7)は付札木簡。縦に二分割している。(8)は上下端を折損。幅を狭めて再利用された木簡。削り残りの墨痕が認められる。

なお、木簡・転読札の釈讀などに際しては、奈良国立文化財研究所の館野和己氏から教示を得た。

(根鈴智津子)



木簡研究第一八号

永田英正

卷頭言—簡牘研究の今昔—

一九九五年出土の木簡

概要 平城宮跡 平城京跡 左京三条一坊十五坪 平城京跡 興福寺
旧境内 大乘院庭園 藤原宮跡 藤原京跡 飛鳥京跡 長岡宮跡
長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 平安宮内酒殿・釜所・侍従所跡 大坂城
跡 大坂城下町跡 森の宮遺跡 長原遺跡 四天王寺旧境内遺跡
長曾根遺跡 入佐川遺跡 宮内堀脇遺跡 祐布ヶ森遺跡 香住エノ
田遺跡 神戸大学医学部附属病院構内遺跡 大毛池田遺跡 駿府城
三の丸跡 駿府城跡 御所之内遺跡 菩山反射炉 大師東丹保遺跡
甲府城関係遺跡 居村B遺跡 北条小町邸跡 宮町遺跡 南滋賀遺
跡 西河原森ノ内遺跡 屋代遺跡群 大猿田遺跡 山王遺跡 市川
橋遺跡 大日南遺跡 志羅山遺跡 西太郎丸遺跡 磯部カンド遺跡
横江莊遺跡 加茂遺跡 豊田大塚遺跡 宮町遺跡 五社遺跡 寺町
遺跡 佐渡金山遺跡 佐渡奉行所跡 桂見遺跡 岩吉遺跡 米子城跡
八遺跡 山崎一号遺跡 長登銅山跡 小倉城跡 大宰府条坊跡 吳
服町遺跡 松崎遺跡 下林遺跡IV区 昌明寺遺跡
塩田城跡

一九七七年以前出土の木簡(一八)

ノゾゴロド白樺文書
長屋王家木簡三題
算木と古代実務官人
書評 沖森卓也・佐藤信著「上代木簡資料集成」

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円

B・ル・ヤニン
森 鈴木 景二
大隅 清陽 公章